

さぬき市

2023改訂

保存版

いつも見える場所に置いてください

洪水

ハザードマップ

自分の命は自分で守る

防災は日頃からの備えが大切

地域で助け合おう

災害は突然起こります。あなた自身とあなたの大切な人を災害から守るために、この「さぬき市洪水ハザードマップ」を活用して、防災について私たち一人ひとりができることを考えてみましょう。

早めの避難が命を救う

わが家の防災メモ

家族で避難先や緊急時の連絡先などについて話し合い、しっかり記入しておきましょう。

●わが家の避難先

●わが家の集合場所・連絡方法

いざというときの連絡先

消防 火事・救急119番 警察 事故・事件110番 海上保安 118番

名称	電話番号	名称	電話番号
さぬき市役所	087-894-1111 (総務課)	香川県広域水道企業団	0879-23-7071
大川広域西消防署	087-895-2119	東讃ブロック統括センター	
大川広域西消防署 寒川分署	0879-43-3119	電気	
さぬき警察署	087-894-0110	ガス	

さぬき市

Sanuki City

〈発行〉さぬき市役所 総務部 危機管理課

〒769-2195 香川県さぬき市志度5385番地8 TEL 087-894-1115

ホームページ: <https://www.city.sanuki.kagawa.jp/>

非常持ち出し品

避難に備えて、リュックサックなどにまとめて持ち出しやすい場所に置いておきましょう。

食料

飲料水(1人1日2〜3リットルを目安)

非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など)

携帯食(チョコレート、キャンディーなど)

粉ミルクと哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合)

救急・安全対策

常備薬(胃腸薬、かぜ薬など)

包帯、ガーゼ、ばんそうこう

傷薬、消毒薬

持病の処方方の薬

ヘルメット、防災ずきん

ホイッスル

体温計、手指消毒剤

貴重品

現金(小銭)

預貯金通帳、印鑑

クレジットカード類

健康保険証

マイナンバーカード、免許証など(本人確認できるもの)

衣類など

衣類(厚手の物と薄い物)

下着類

タオル、毛布

手袋、軍手

寝袋

雨具

防寒シート、マットなど厚手の敷物

日用品など

ポリ袋(ビニール袋)

新聞紙

ろうそく、ライター

ナイフ、缶切り

ティッシュペーパー

ウェットティッシュ

懐中電灯(予備電池)

携帯ラジオ(予備電池)

携帯充電器(充電器・バッテリー)

筆記用具(油性マジック)

洗面用具

メガネ

マスク

使い捨てカイロ

紙おむつ

生理用品

布ガムテープ

ロープ

防犯ブザー

水のいらないシャンプー

からだ拭きウェットシート

爪切り

手鏡

ヘアブラシ

ヘアゴム

地図(ハザードマップ)

おしり拭き、簡易トイレ

備蓄品

日頃から、7日分の食料と飲料水を備蓄品として準備しておきましょう。

食料

飲料水(1人1日3リットルを目安)

米(缶詰やレトルトのご飯なども便利)

缶詰や菓子類

粉ミルク・離乳食

燃料・日用品など

カセットコンロ

米(缶詰やレトルトのご飯なども便利)

缶詰または密閉

ブルーシート

割り箸

衣類

新聞紙

簡易トイレ

布ガムテープ

キッチン用ラップ

なべ

「循環備蓄(ローリングストック)」を心がけましょう

備蓄食料・飲料水などの消費期限が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して常に一定量のストックがある状態を保つことを「循環備蓄」といいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎます。

災害用伝言サービス

地震や洪水などの大災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話が繋がりにくい状況が続くことがあります。このような場合は、以下のサービスが開通されます。

災害用伝言ダイヤル 177

電話を用いて安否情報(伝言)の録音・再生を行うことができます。

録音するときは1番ダイヤル 再生するときは2番ダイヤル

被災地の方も、被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする

伝言を入れる

伝言を聞く

災害用伝言板(web171)

<https://www.web171.jp/>

スマートフォン・携帯電話・PC等から災害用伝言板(web171)にアクセスすることで、テキストによる安否情報(伝言)の登録・確認を行うことができます。

※上記の他に携帯電話各社から「災害用伝言板サービス」が提供されます。利用方法については各社ホームページ等で確認ください。

安全に避難するために

●ハザードマップ活用のポイント

1 想定される浸水区域や深さなどをチェックしましょう。

●想定される浸水区域や深さなどをチェックし、災害時の様々な事態をイメージしましょう。

2 避難先や避難経路を決めておきましょう。

●浸水深等を確認し、どこへ避難するかを決めておきましょう。

●浸水深が0.5m以上(1階の床に相当)の区域は、緊急避難できる身近な場所も確認しておきましょう。

3 避難先までの避難経路を考えたみましょう。

●避難先まで実際に歩いて、移動時間を確認しておきましょう。

●避難途中で浸水した場合に緊急避難できる場所や複数のルートを確認しておきましょう。

4 日頃から家族や地域で話し合いましょう。

●災害時に協力し合えるよう、家族や地域で役割などを話し合います。

●避難時に支援が必要な要配慮者への情報伝達や補助内容を決めておきましょう。

5 防災情報の入手先を確認しておきましょう。

●河川の堤体が被災すると、短時間で決壊に至る可能性があり、自らの安全確保が最優先となります。

●このマップと併せて活用し、災害に関する知識を深めましょう。

6 市の公表している他のハザードマップもご覧ください。

●市では、津波・土砂災害・ため池・高層を対象としたハザードマップを公表しています。

●このマップと併せて活用し、災害に関する知識を深めましょう。

中継局に身を寄せる避難先には、市が指定する「指定緊急避難場所」のほか、「安全な環境・人口密度」や「家族や自治会で取り決めた一時避難場所」などがあります。

要配慮者への避難支援

要配慮者とは、災害発生時に避難の手助けが必要な人々のことです。一般に高齢者や障害者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人などが該当します。地域で協力しあひながら、要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

高齢者・病人

●おぶって安全な場所まで避難する。

●複数の介助者で対応する。

目の不自由な方

●声をかけ情報を伝える。

●誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩手前をゆっくり歩く。

肢体の不自由な方(車椅子)

●階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。

●介助者が1人の場合、むもなどを活用し、おぶって避難する。

耳の不自由な方

●話すときは、口をはっきりと開け、相手にわかりやすいようにする。

●手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

外国人

●話すときは、やさしい日本語で話しかける。

●身振りや手振りで話しかけ、孤立させない。

× 避難している

→

○ 避難している

やさしい日本語に置き換えて伝える

警戒レベルと避難情報

●警戒レベルととるべき行動

令和元年6月から、避難情報等に加えて、住民が情報の意味を直感的に理解できるよう、5段階の警戒レベルを提供し、とるべき行動が明確化されました。警戒レベルに応じて、適切な避難行動をとってください。

避難情報等(さぬき市が発表)	警戒レベル	防災気象情報(気象庁が発表)	とるべき行動
緊急安全確保	警戒レベル5	大雨特別警報	すでに災害が発生している状況です。この段階では安全な避難が難しい場合があります。空回りをおそれずに、レベル3・レベル4の段階で安全に避難を続けます。
避難指示	警戒レベル4	土砂災害警戒情報	速やかに指定緊急避難場所や一時避難場所等に避難しましょう。指定緊急避難場所等までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。
高齢者等避難	警戒レベル3	大雨警報	高齢者、障害のある方等、避難に時間のかかる方とその支援者は避難を開始しましょう。その他の方は、避難の準備を進めましょう。
	警戒レベル2	洪水注意報・大雨注意報	ハザードマップなどで避難行動を確認しましょう。災害の危険性のある区域、避難する場所、避難経路、避難のタイミングを確認してください。
	警戒レベル1	早期注意情報	最新の防災気象情報などを確認しましょう。災害への心構えを高めてください。

マイ・タイムラインを作ってみよう!

マイ・タイムラインとは、災害時に発生する状況をあらかじめ想定し、自分自身が取る防災行動を時系列的に整理し、とりまとして、災害時に落ち着いて行動できるための手順書です。

■マイ・タイムラインの検討方法

①ハザードマップを用いて、住んでいる地域が洪水等の危険があるか確認しましょう。

②ハザードマップ等を用いて、避難する場所を確認しましょう。また、指定緊急避難場所までどのような経路・手段で避難するのかが確認できるとよいです。

③警戒レベルや避難情報、防災気象情報などから、避難行動を始めるタイミングを考えましょう。また、避難開始までに何をすべきか考えましょう。

④雨の状況、河川の状況、市からの避難に関する情報などの取得方法を確認しましょう。

●避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入手して、特に災害発生のおそれがある場所に居る人は、早めの避難を心がけましょう。

状況により、すばやく避難しましょう

避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

浸水時、自動車での避難は危険

普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。

家族には連絡メモを残そう

外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくとい良いでしょう。

防災メモを持とう

高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。

持出し品は最小限に

非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手で自由に使えるようにしましょう。

安全なルートで避難

避難先への経路は、川川や地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

●水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、高齢者等避難や避難指示が発令されていても、がけや浸水区域から離れる(水平避難)だけでなく、近くの頑丈な建物の2階以上や自宅の2階といった高い場所へ移動(垂直避難)して救助を待つという判断も必要です。

危険な避難

避難先への早めの避難(水平避難)

高所への避難(垂直避難)

浸水後の避難 やむを得ず移動する場合は…

●歩ける深さ

浸水時に歩ける深さは膝くらいまで、腰まで浸かって歩く体力を消耗します。また、水深20cm位でも、流れが速い場合は危険を伴うことがあるので注意が必要です。

●足元に注意

浸水により足下が見えにくくなることで、道路と側溝や水路等の区別がつかなくなります。長い棒などで深い場所がないか安全を確認しながら歩きましょう。

さぬき市

緊急安全確保

避難指示

高齢者等避難

気象情報

音声告知放送

防災行政無線

コミュニティ放送(CATV)

ホームページ

登録制メール

エリアメール・緊急速報メール

広報車

テレビ・ラジオ(報道)

市民のみなさん

さぬき市のメール配信サービス(安全安心コミュニティサービス)

さぬき市が安全・安心を提供するために、避難情報や警報等を通知するためのメール配信サービスです。

登録方法

①entry@ashin.sanuki.ne.jpへ登録メールを送信してください。

②折り返し、登録用メールが届きます。案内に従って登録ください。

③QRコードを読み込むか、またはメールアドレス: mlb@sanuki-kagawa.jpへ登録メールを送信してください。

④折り返し、登録用メールが届きます。案内に従って登録ください。

さぬき市ホームページ

さぬき市

検索

【情報内容】▶さぬき市の災害・防災情報や避難情報など

<https://www.city.sanuki.kagawa.jp/>

さぬき市防災情報システム

さぬき市 防災情報システム

検索

【情報内容】▶さぬき市の雨量、水位、河川・港湾に設置したカメラの映像など

<https://sanuki.tenki.ne.jp/>

高松地方気象台

高松地方気象台

検索

【情報内容】▶香川県の気象予報・防災情報・観測情報など

<https://www.jma-net.go.jp/takamatsu/>

かがわ防災Webポータル

かがわ防災Web

検索

【情報内容】▶香川県の雨量、水位・土砂災害・防災情報など

<https://www.bousai-kagawa.jp/>

アイタウン志度

●河川の水位情報

河川の水位が上昇して洪水のおそれがあるとき、避難情報を発令します。各避難情報は、各河川で定められた水位の基準に達するなどの状況から判断し、発令します。

水位の名称等

避難情報の種類等

氾濫の発生

避難情報の種類等

氾濫危険水位

避難指示の目安

避難判断水位

高齢者等避難の目安

氾濫注意水位

水防団が活動する目安になる水位

水防団待機水位

水防団が準備する目安になる水位

ふだんの水位

※河川の水位情報や雨量は、かがわ防災Webポータルやさぬき市防災情報システムで見ることができます。

●風が強いとき・大雨のとき

毎年のように台風や集中豪雨によって浸水や土砂災害などの被害が発生しています。しかし、地震と違い、風水害はある程度事前に発生を予測することができます。危険が迫ったら早めに対応しましょう。雨風が強まってきたら、まずテレビやラジオ、インターネット等で発表される気象庁からの注意報・警報・特別警報や、さぬき市からの避難に関する情報に注意しましょう。不要不急の外出は控え、危険な場所には近づかないようにしましょう。

風が強いとき

室内では

室外では

海辺では

大雨のとき

室内では

車の運転は

川の水が急激に増える

指定緊急避難場所(洪水)

指定緊急避難場所は、洪水の危険が迫るときに避難する場所です。なお、指定された屋内を指定緊急避難場所とするときは、原則として市が開通(ホームページやメール、音声告知放送で周知)した後に避難することとなります。開設していない指定緊急避難場所については、開設されていませんのでご注意ください。

名称	所在地	名称	所在地
津田小学校(2階以上)	津田町津田144番地	小田ふれあいプラザ	小田152番地2
津田体育館(2階以上)	津田町津田138番地16	鴨部ふれあいプラザ	鴨部6090番地1
津田保健センター(2階以上)	津田町津田915番地1	志度公民館未分館	末1114番地
津田公民館北山分館	津田町津田3645番地5	寒川農村環境改善センター	寒川町石田東甲330番地
津田多目的研修集会施設	津田町鶴羽1746番地	石田高等学校	寒川町石田東甲1065
さぬき南中学校(2階以上)	大川町富田西2823番地1	寒川小学校	寒川町石田西812番地1
大川公民館	大川町富田中2215番地	寒川ふれあいプラザ	寒川町石田西1037番地1
大川コミュニティセンター	大川町富田中3306番地1	旧神前小学校	寒川町神前1615番地
松尾ふれあい会館	大川町田田140番地2	長尾小学校	長尾東901番地1
さぬき南小学校	大川町南1161番地	長尾公民館	長尾東914番地1
志度高等学校	志度366番地5	幸立文化センター	長尾西1694番地
志度武道館	志度2214番地1	志度小学校(2階以上)	志度弘弘688番地1
志度中学校	志度2214番地4	前山活性化センター(おへろ交流サロン)	前山936番地3
志度幼稚園	志度3726番地1	結納の里	多和町光東30番地1
志度南交流センター	志度4626番地42	多和診療所	多和町光東29番地4
志度東体育館	朝比2550番地39	旧多和小学校横川分校	多和町川1235番地1
志度構造改善センター	朝比4610番地45		

指定避難所

指定避難所は、災害により住居などが被災し、自宅などで生活できない被災者が一定期間避難生活を送る施設です。災害が発生した後、施設の安全性を確認してから開設します。また、災害の状況などにより、指定していない公共施設を指定避難所として開設することもあります。

名称	所在地	名称	所在地
津田小学校	津田町津田144番地	志度構造改善センター	朝比4610番地45
津田高等学校	津田町津田1632番地1	石田高等学校	寒川町石田東甲1065
さぬき南中学校	大川町富田西2823番地1	寒川幼稚園	寒川町石田西384番地1
松尾ふれあい会館	大川町田田140番地2	寒川小学校	寒川町石田西812番地1
さぬき南小学校	大川町南1161番地	旧神前小学校	寒川町神前1615番地
志度高等学校	志度366番地5	長尾小学校	長尾東901番地1
志度中学校	志度2214番地4	造田小学校	造田弘弘688番地1
志度幼稚園	志度3726番地1	結納の里	多和町光東30番地1
志度東体育館	朝比2550番地39		

※指定緊急避難場所、指定避難所は令和5年5月時点のものです。「さぬき市ホームページ」で常に最新の情報をご確認ください。

さぬき市 洪水ハザードマップ 北部

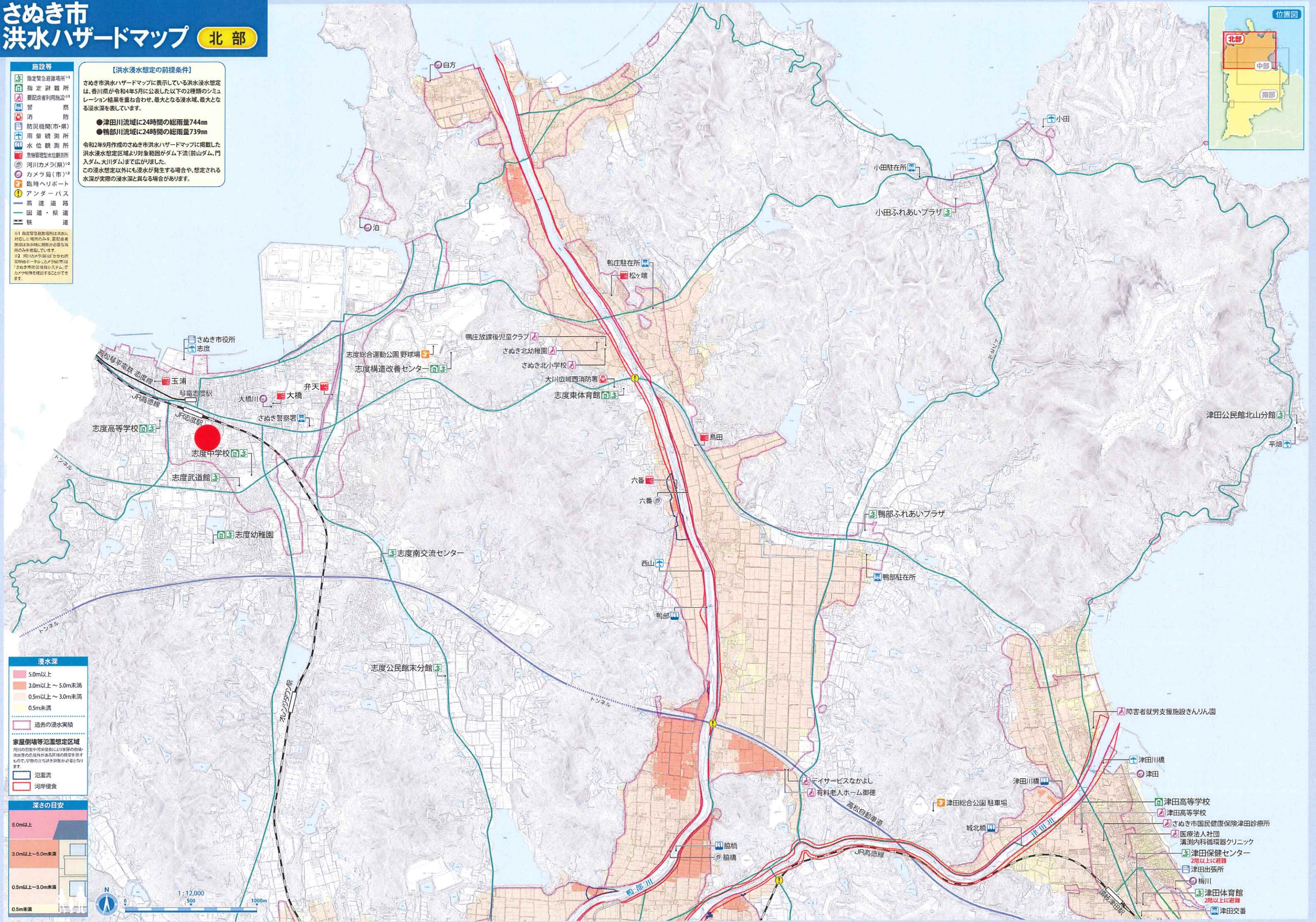
- 施設等**
- 指定緊急避難場所※1
 - 指定避難所
 - 要配慮者利用施設※1
 - 警察
 - 消防
 - 防災機関(市・県)
 - 雨量観測所
 - 水位観測所
 - 危険箇所水位観測所
 - 河川カメラ(県)※2
 - カメラ局(市)※2
 - 臨時ヘリポート
 - アンダーパス
 - 高速道路
 - 国道・県道
 - 鉄道
- ※1 指定緊急避難場所は洪水に
対応した場所のみを、要配慮者
施設は洪水時に避難が必要な場
所のみを想定しています。
※2 河川カメラは「さぬき市河川
Webカメラ」から、カメラ局は
「さぬき市防災情報システム」で
カメラ映像を確認することができます。

【洪水浸水想定的前提条件】

さぬき市洪水ハザードマップに表示している洪水浸水想定は、香川県が令和4年5月に公表した以下の2種類のシミュレーション結果を重ね合わせ、最大となる浸水域、最大となる浸水深を表しています。

- 津田川流域に24時間の総雨量744mm
- 鴨部川流域に24時間の総雨量739mm

令和2年9月作成のさぬき市洪水ハザードマップに掲載した洪水浸水想定区域より対象範囲がダム下流(前山ダム、門入ダム、大川ダム)まで広がりました。
この浸水想定以外にも浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



浸水深

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 0.5m以上～3.0m未満
- 0.5m未満

過去の浸水実績

家屋倒壊等氾濫想定区域

河川の氾濫や河川敷の崩壊により家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すもので、実際の浸水状況は異なります。

氾濫流
河岸侵食

深さの目安

- 5.0m以上
- 3.0m以上～5.0m未満
- 0.5m以上～3.0m未満
- 0.5m未満

- 障害者就労支援施設きりん園
- 津田川橋
- 津田
- 津田川橋
- 津田川橋
- 津田総合公園 駐車場
- 城北橋
- 津田高等学校
- 津田高等学校
- さぬき市国民健康保険津田診療所
- 医療法人社団 満洲内科循環器クリニック
- 津田保健センター
- 2階以上に避難
- 津田出張所
- 楠川
- 津田体育館
- 2階以上に避難
- 津田交番

平成29年7月作成

さぬき市 ●保存版 ●取り出しやすい場所に保管してください

土砂災害ハザードマップ

自分の命は 自分で守る

防災は 日頃からの備え が大切

地域で 助け合おう

災害は突然起こります。あなた自身とあなたの大切な人を災害から守るために、この「さぬき市土砂災害ハザードマップ」を活用して、防災について私たち一人ひとりができることを考えてみましょう。

災害は突然起こります。あなた自身とあなたの大切な人を災害から守るために、この「さぬき市土砂災害ハザードマップ」を活用して、防災について私たち一人ひとりができることを考えてみましょう。

災害は突然起こります。あなた自身とあなたの大切な人を災害から守るために、この「さぬき市土砂災害ハザードマップ」を活用して、防災について私たち一人ひとりができることを考えてみましょう。

わが家の防災メモ

家族で避難先や緊急時の連絡先などについて話し合い、しっかり記入しておきましょう。

●わが家の避難場所 ●家族がはなればなれになった時の集合場所

いざというときの連絡先

消 防 火事・救急 **119番** 警 察 事故・事件 **110番** 海上保安 **118番**

名 称	電話番号	名 称	電話番号
さぬき市役所	087-894-1111 (総務課)	水道	
大川広域西消防署	087-895-2119	電気	
大川広域西消防署 寒川分署	0879-43-3119	ガス	
さぬき警察署	087-894-0110		

▲空欄は各家庭でご記入ください。

さぬき市 Sanuki City

(発行) さぬき市役所 総務部 総務課 危機管理室
〒769-2195 香川県さぬき市志度5385番地8 TEL.087-894-1115
ホームページ: <http://www.city.sanuki.kagawa.jp/>

非常持ち出し品 避難する場合に備えて、リュックサックなどにまとめて持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
☐ 飲料水(1人1日2～3リットルを目安) ☐ 非常食(缶詰、乾パン、レトルト食品など) ☐ 携帯食(チョコレート、キャンディーなど) ☐ 粉ミルクと哺乳瓶(赤ちゃんがいる場合)	☐ 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) ☐ 包帯、ガーゼ、ばんそうこう ☐ 傷薬、消毒薬 ☐ 持病のある方の薬 ☐ ヘルメット、防災ずきん ☐ ホイッスル	☐ 現金(小銭) ☐ 預貯金通帳、印鑑 ☐ クレジットカード類 ☐ 健康保険証 ☐ マイナンバーカード、免許証など(本人確認できるもの)

衣類など	日用品など
☐ 衣類(厚手の物と薄い物) ☐ 下着類 ☐ タオル、毛布 ☐ 手袋、軍手 ☐ 寝袋 ☐ 雨具	☐ ボイラー(ビニール袋) ☐ 新聞紙 ☐ ろうそく、ライター ☐ ナイフ、缶切り ☐ ティッシュペーパー ☐ ウェットティッシュ ☐ 雨具 ☐ 携帯ラジオ(予備電池) ☐ 紙おむつ ☐ 携帯電話(充電器・バッテリー) ☐ 生理用品 ☐ 筆記用具(油性マジック) ☐ 布ガムテープ ☐ ナイフ、缶切り ☐ 洗面用具 ☐ ティッシュペーパー ☐ メガネ ☐ ウェットティッシュ ☐ マスク ☐ 懐中電灯(予備電池) ☐ 使い捨てカイロ

備蓄品 日頃から、7日分の食料と飲料水を備蓄品として常備しておきましょう。

食料	燃料・日用品など
☐ 飲料水(1人1日3リットルを目安) ☐ 米(缶詰やレトルトのご飯なども便利) ☐ 缶詰や菓子類 ☐ 粉ミルク・哺乳食	☐ カセットコンロ ☐ 割り箸 ☐ 予備のガスボンベ ☐ 衣類 ☐ 毛布または寝袋 ☐ 新聞紙 ☐ ブルーシート ☐ 簡易トイレ

「循環備蓄」を心がけましょう

備蓄食料・飲料水などの保存期限が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して常に一定量のストックがある状態を保つことを「循環備蓄」といいます。定期的に古い備蓄品から消費することによって無駄を出さず、また、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎます。

災害用伝言サービス

地震や洪水などの大災害発生時は、電話利用が急激に増加し、電話がつかないにくい状況が続くことがあります。このような場合は、以下のサービスが開設されます。

災害用伝言ダイヤル 171

電話を用いて安否情報(伝言)の録音・再生を行うことができます。

録音するときは、**1** をダイヤル 被災地の方も、被災地以外の方も 伝言を入れる
再生するときは、**2** をダイヤル 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする 伝言を聞く

災害用伝言板(Web171) <https://www.web171.jp/>

スマートフォン・携帯電話・PC等から災害用伝言板(web171)にアクセスすることで、テキストによる安否情報(伝言)の登録・確認を行うことができます。

※上記の他に携帯電話各社から「災害用伝言板サービス」が提供されます。利用方法については各社ホームページ等でご確認ください。

安全に避難するために

●土砂災害から身を守るためのポイント

1 住んでいる箇所が「土砂災害(特別)警戒区域」かどうか確認

土砂災害発生のおそれのある場所は「土砂災害(特別)警戒区域」とされています。あらかじめ自分の家が土砂災害(特別)警戒区域にあるかどうか、このハザードマップやさぬき市のホームページなどで確認しましょう。

2 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意

雨が降り出したら、「土砂災害警戒情報」に注意してください。テレビやラジオの気象情報で発表されるほか、気象庁や、さぬき市のホームページなどで確認できます。特に、急に強い雨が降ってきたときや、ずっと雨が降り続けているときには、土砂災害が発生するおそれがあるので警戒が必要です。

3 危険を感じたら早めに避難

お年寄りや障害のある人など避難に時間がかかる人は、移動時間を考えて早めに避難することが大切です。また、土砂災害の多くは木造の1階で被災しています。どうしても避難場所への移動が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難するか、それも難しい場合は家の中でより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)に避難しましょう。

避難場所への移動が困難な場合

家の2階以上へ(2階以上は移動)
それも困難なら
がけから離れた部屋へ

要配慮者への避難支援

要配慮者とは、災害発生時に避難の手助けが必要な人々のことです。一般に高齢者や障害者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々などが該当します。地域で協力しあいながら、要配慮者の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

高齢者・病人

- おぶって安全な場所まで避難する。
- 複数の介助者で対応する。

目の不自由な方

- 声やかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持った方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持つてもらい、半歩手前をゆっくり歩く。

肢体の不自由な方(車椅子)

- 階段では2人以上が必要。上りは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、むもなどを用意し、おぶって避難する。

耳の不自由な方

- 話すときは、口をはっきりと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

外国人の方

- 話すときは、やさしい日本語で話しかける。
- 身振りや手振りで話しかけ、孤立しないようにする。

× 避難している ○ 避難している やさしい日本語に置き換えて伝える

避難情報と気象情報

●避難情報が発令されたら

避難情報は災害の状況に応じて3段階に分けて発令します。普段から避難情報の種類と、とるべき行動について確認し、発令された場合には適切な行動をとってください。

情報の種類	発令時の状況	とるべき行動
避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合。	- いつでも避難できるように準備する。身の危険を感じる人は避難を開始する。 - 避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児を連れての方等)は避難を開始する。
避難勧告	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合。	- 避難場所へ避難する。 - 地下空間にいる人は、速やかに安全な場所へ避難する。
避難指示(緊急)	災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合。	- まだ避難していない場合は、ただちにその場から避難する。 - 外出することによって急に危険に及ぶような状況では、自宅内のより安全な場所へ避難する。

さぬき市

避難準備・高齢者等避難開始
避難勧告
避難指示(緊急)

気象情報

音声告知放送
防災行政無線
コミュニティ放送(CATV)
ホームページ
登録制メール[※]
エリアメール[※]・緊急速報メール
広報車

テレビ・ラジオ(報道)

市民のみなさん

災害の状況を確認し、最速の方法で情報を伝達しますので、全ての方法で必ず伝達するものではありません。

※さぬき市のメール配信サービスや香川県防災速報メールへの登録が必要となります。

メールによる情報入手

市の避難勧告等の発令や避難場所等の開設などの情報は、事前に登録制メールに登録することで、情報入手することができます。

さぬき市のメール配信サービス(安全安心コミュニティサービス)

さぬき市が安全・安心を提供するために、避難情報や警報等を周知するためのメール配信サービスです。

香川県防災情報メール

気象警報・注意報や土砂災害警戒情報、避難勧告等の情報がメール配信されるサービスです。

エリアメール・緊急速報メール

エリアメール(NTTドコモ)、緊急速報メール(au、ソフトバンク)は、気象庁が配信する情報や、市が発信する災害・避難情報などを受信することができる携帯端末利用のサービスです。

※詳しくは、ご利用の携帯電話会社ホームページをご覧ください。

登録方法

① entry@anshin.sanuki.ne.jp へ、空メールを送信してください。
② 折り返し、登録用メールが届きます。案内に従って登録ください。

登録方法

① <http://info.bousai-kagawa.jp/> に接続し、利用方法に従って空メールを送信してください。
② 折り返し、登録用メールが届きます。案内に従って登録ください。

登録方法

① <http://www.city.sanuki.kagawa.jp/> にアクセスし、利用方法に従って登録ください。

●避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の危険性が想定された場合には、情報を入力して、早めの避難を心がけましょう。

状況により、すばやく避難しましょう
避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

浸水時、自動車での避難は危険
普通自動車は約30cmの浸水で走行困難になります。浸水時、自動車での避難は危険です。

浸水時に長靴は厳禁
避難には運動靴が最適です。長靴は水が入ると歩けなくなります。動きやすい服装で避難しましょう。

家族には連絡メモを残そう
外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくとい良いでしょう。

防災メモを持とう
高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。

集団で助け合おう
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

安全なルートで避難
避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を歩きましょう。

持ち出し品は最小限に
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

※避難施設に寄ったら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

●水平避難と垂直避難

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。そのような場合は、避難準備・高齢者等避難開始や避難勧告が発令されていても、がけや浸水区域から離れる(水平避難)だけでなく、近くの頑丈な建物の2階以上や自宅の2階といった高い場所へ移動(垂直避難)して救助を待つという判断も必要です。

危険な避難 **避難場所への早めの避難(水平避難)** **高所への避難(垂直避難)**

●浸水後の避難 やむを得ず移動する場合は…

歩ける深さ
浸水時に歩ける深さは膝くらいまで。膝まで浸って歩くことで体力を消耗します。また、水深20cm位でも、流れが速い場合は危険を伴うことがあるので注意が必要です。

足元に注意
浸水により足下が見えにくくなることで、道路と側溝や水塔等の区別がつかなくなります。長い棒などで深い場所がないか安全を確認しながら歩きましょう。

●大雨・洪水に関する注意報・警報

下記のような場合、気象庁から「注意報」「警報」が発表されます。さらに、警報の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼びかけます。※「特別警報」が発表されない場合でも、甚大な被害が発生する可能性があります。

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	警報よりさらに高い危険度
大雨 大雨により、浸水災害や土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 大雨により、重大な浸水災害や重大な土砂災害などが発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨 台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の低気圧低気圧により大雨になると予想したときに発表。
洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水やはん濫、堤防の損傷や決壊による災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	洪水 大雨、長雨、融雪などにより、河川の増水やはん濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	※「過去」は、全国約400の河川において指定河川洪水警報を発表しているため、特別警報の設定はありません。

●雨の強さの表現と降り方(1時間雨量)

やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
10～20mm未満	20～30mm未満	30～50mm未満	50～80mm未満	80mm以上
地面一面に水たまりができ、道も濡れてしまうようになります。長時間になりそうなら警戒が必要です。	土砂降りの雨。傘をささなくても濡れてしまうほどの雨です。小川や川ははん濫。また、がけ崩れの心配もあります。	激しい雨。山崩れ、がけ崩れが起こりやすくなります。道路規制も行われます。避難の準備をしましょう。	滝のように降り、あたりが水になるまで止まらなくなります。屋内で留まっている人の半数くらいが気づくほどの激しい雨で、多くの災害が発生します。	息苦しくなるような圧迫感があります。大雨による大規模な災害が発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要です。

※気象庁 気象情報

ホームページ等による情報入手

気象情報や避難情報などの防災情報は、パソコンやスマートフォンを使って、ホームページからも情報入手することができます。自ら情報を収集し、危険を感じたときは早めの避難を心がけましょう。

さぬき市ホームページ

【情報内容】▶さぬき市の災害・防災情報や避難情報など
<http://www.city.sanuki.kagawa.jp/>

気象庁

【情報内容】▶全国の気象や災害・洪水手帳に関する情報など
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

さぬき市観測情報システム

【情報内容】▶さぬき市の降雨情報・河川カメラなど
<http://anshin.sanuki.ne.jp/Observation/Map.aspx>
(携帯端末用) <http://anshin.sanuki.ne.jp/Observation/mobile/index.aspx>

かがわ防災Webポータル

【情報内容】▶香川県の雨量・水位・土砂災害・防災情報など
<http://www.bousai-kagawa.jp/>

高松地方気象台

【情報内容】▶香川県の気象予報・防災情報・観測情報など
<http://www.jma-net.go.jp/takamatsu/>

土砂災害を知っておこう

●土砂災害の種類と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。下記のような前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、さぬき市役所へご連絡ください。

土砂災害の種類は、自分のお住いの土地の土質や地形によって異なります。

がけ崩れ	土石流	地すべり
地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。	大雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。崩壊土砂により河川をせき止める場合があります。	大雨や長雨等により雨水が地盤にしみこみ、地盤が広い範囲にわたってゆるみ、動き出すものをいいます。ゆるみ動き出すため避難が遅れる場合があります。

！こんなときは要注意 土砂災害の前兆(前兆現象)

五感 移動主体	がけ崩れ	土石流	地すべり
視	- がけに割目が見える - がけから小石がバラバラと落ちる - 斜面がはらみだす	- 溪流付近の斜面が崩れだす - 落石が生じる	- 地面にひび割れができる - 地面の一部が落ち込んだり盛り上がりだす
聴	- 表面流が生じる - がけから水が噴き出す - 湧水が濁ります	- 川の水位が異常に高まる - 雨が降り続けているのに川の水位が下がる - 土砂の流出	- 沢や井戸の水が濁る - 斜面から水が噴き出す - 池や沼の水が急減する
触	樹木が傾く	濁水に流木が混じりだす	樹木が傾く
音	- 樹木の根が切れる音がかかる - 樹木の揺れる音がかかる - 地鳴りがする	- 地鳴りがする - 山鳴りがする - 乾石のぶつかり合う音	樹木の根が切れる音がかかる
におい		腐った土のにおいがする	

※上記は一般的な前兆です。すべての場所において必ず起きるというものではありません。

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報とは、大雨警報の発表中に、土砂災害発生危険度が高まったとき、香川県と高松地方気象台が共同で発表する情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、市からの情報を入力して避難してください。また、土砂災害警戒区域内にいる場合は、ただちに避難してください。

※土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報などにも十分注意しながら、早めの避難を心がけてください。



緊急避難場所(土砂災害時)

緊急避難場所は、土砂災害の危険が迫ったときに避難する場所です。なお、指定された屋内を避難場所とするときは、市が開設(ホームページやメール、音声告知放送で周知)後に避難することとなります。開設していない緊急避難場所については、開設されていないのでご注意ください。

名 称	所在地	名 称	所在地
津田公民館	津田町津田138番地16	小田ふれあいプラザ	小田1522番地2
津田小学校	津田町津田144番地	鴨部ふれあいプラザ	鴨部6090番地1
津田保健センター	津田町津田915番地1	志度公民館鴨部分館	鴨部1099番地
津田公民館北山分館	津田町津田3645番地5	寒川公民館	寒川町石田東甲931番地
津田多目的研修集会所	津田町鶴岡1746番地	寒川幼稚園	寒川町石田西384番地1
さぬき南中学校	大川町富田西2823番地1	寒川ふれあいプラザ	寒川町石田西1037番地1
大川公民館	大川町富田中2215番地1	神前小学校	寒川町神前1615番地
大川コミュニティセンター	大川町富田中3306番地1	長尾小学校	長尾東901番地1
さぬき南小学校	大川町南川161番地	長尾公民館	長尾東914番地1
松尾ふれあい会館	大川町田面140番地2	幸立文化センター	長尾西1694番地
志度高等学校	志度366番地5	造田小学校	造田足弘688番地1
志度中学校	志度2214番地4	造田ふれあいプラザ	造田野間田693番地10
志度南交流センター	志度4626番地42	長尾公民館前山分館	前山866番地4
志度公民館末分館	末1114番地	多和診療所	多和光栄東29番地4
生涯学習館	鴨庄1973番地3	結願の里	多和光栄東30番地1
志度構造改善センター	鴨庄4610番地45	旧多和小学校横川分校	多和横川1235番地1

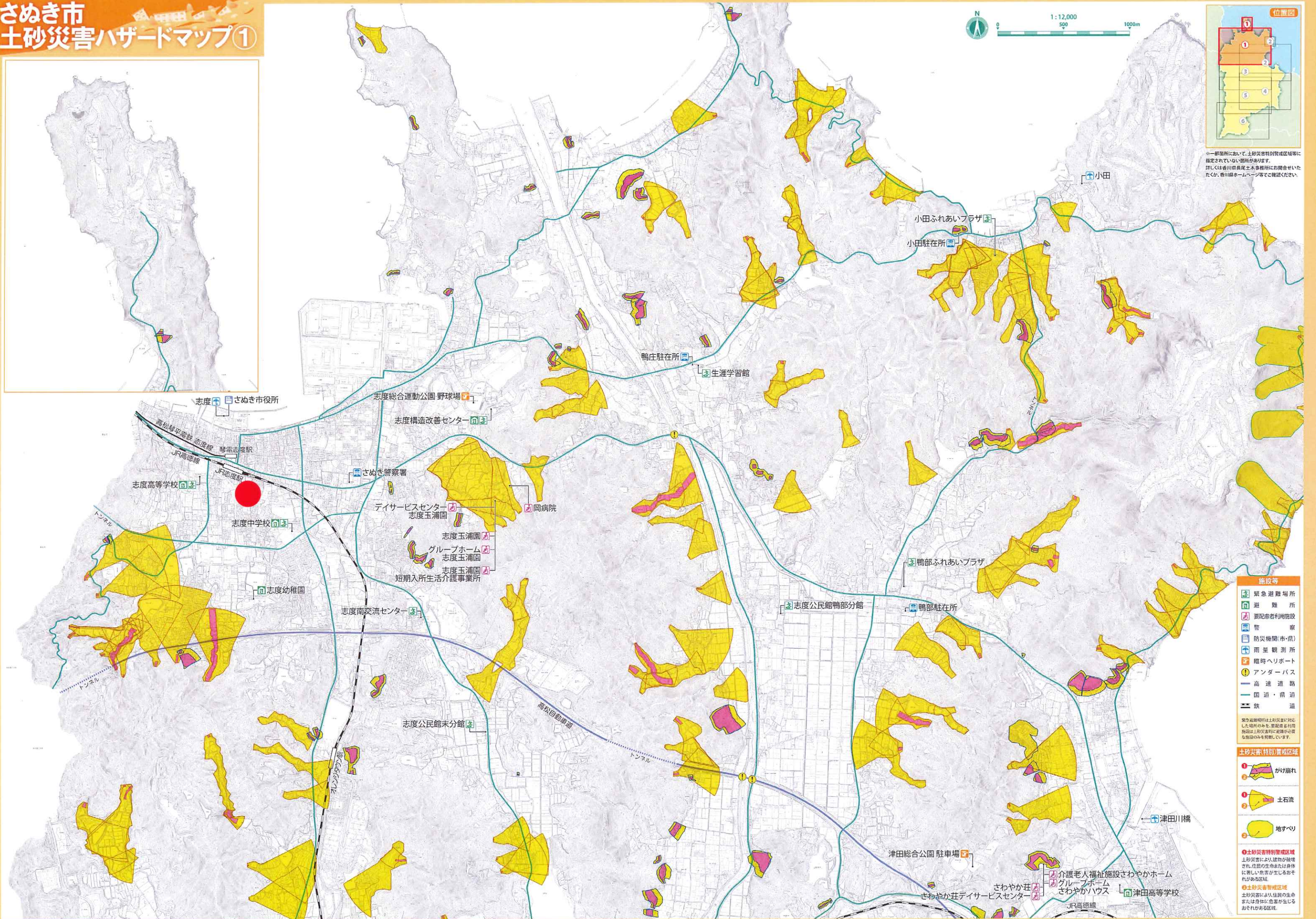
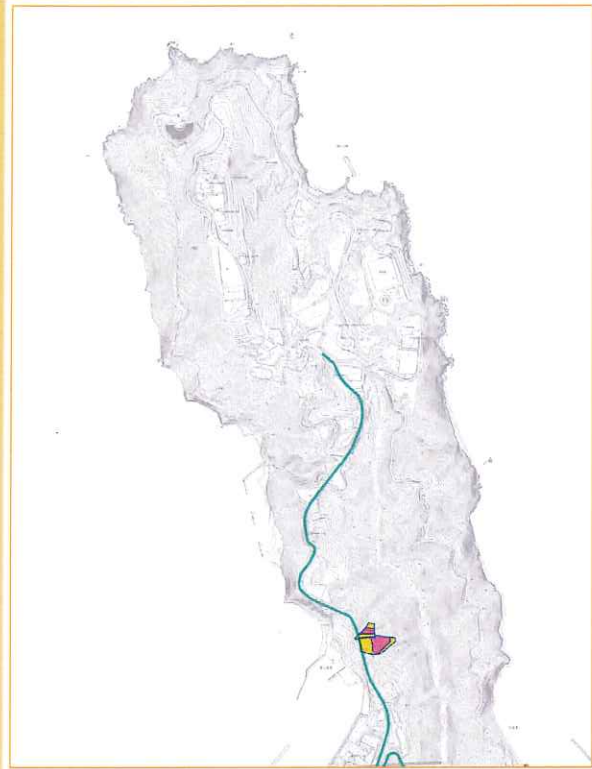
避難所

避難所は、災害により住居などが被災し、自宅などで生活できない被災者が一定期間避難生活を送る施設です。災害が発生した後、施設の安全性を確認してから開設します。また、災害の状況などにより、指定していない公共施設を避難所として開設することもあります。

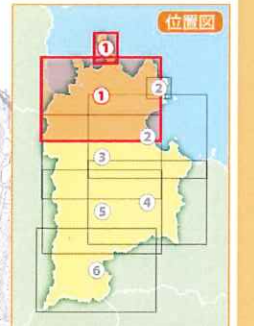
名 称	所在地	名 称	所在地
津田小学校	津田町津田144番地	志度幼稚園	志度3726番地1
津田高等学校	津田町津田1632番地1	志度構造改善センター	鴨庄4610番地45
さぬき南中学校	大川町富田西2823番地1	寒川幼稚園	寒川町石田西384番地1
さぬき南小学校	大川町南川161番地	神前小学校	寒川町神前1615番地
松尾ふれあい会館	大川町田面140番地2	長尾小学校	長尾東901番地1
志度高等学校	志度366番地5	造田小学校	造田足弘688番地1
志度中学校	志度2214番地4	結願の里	多和光栄東30番地1

※緊急避難場所、避難所は平成29年7月現在のもので、今後変更になることもあります。最新の情報は「さぬき市ホームページ」でご確認ください。

さぬき市 土砂災害ハザードマップ①



1:12,000
500 1000m



※一部箇所において、土砂災害特別警戒区域等に指定されていない箇所があります。詳しくは香川県土木事務所にお問合せいただくか、香川県ホームページ等でご確認ください。

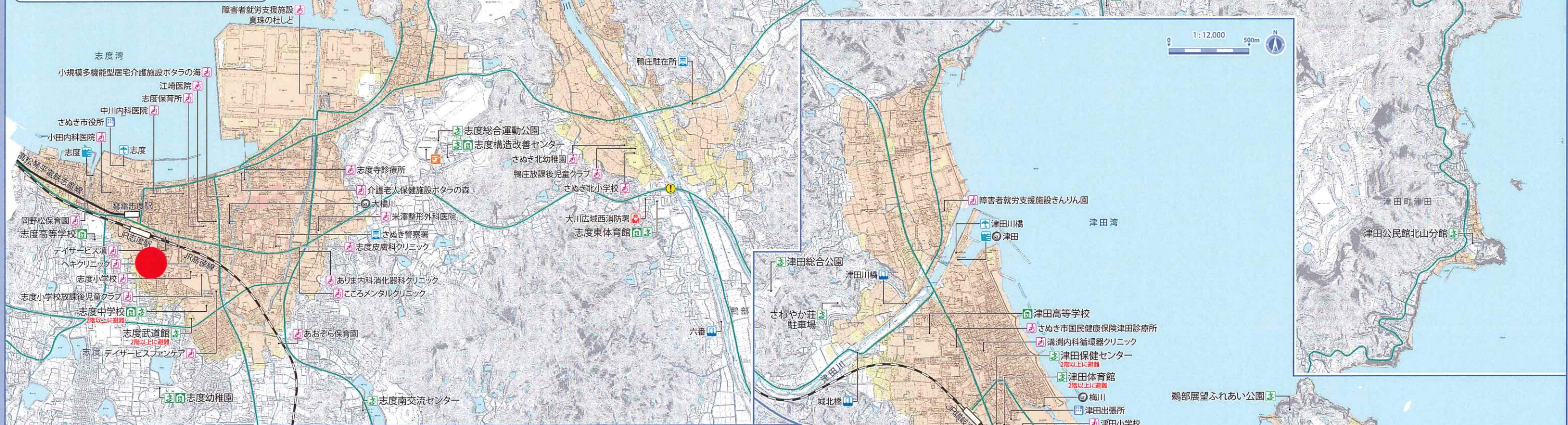
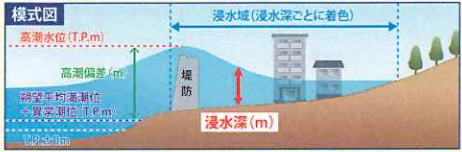
- 施設等**
- 緊急避難場所
 - 避難所
 - 要配慮者利用施設
 - 警察
 - 防災機関(市・県)
 - 雨量観測所
 - 臨時ヘリポート
 - アンダーパス
 - 高速道路
 - 国道・県道
 - 鉄道路
- 土砂災害(特別)警戒区域**
- ① かけ崩れ
 - ② 土石流
 - ③ 地すべり
- 土砂災害特別警戒区域**
土砂災害により、建物や施設が破壊され、住民の生命または身体に著しい被害が生じるおそれがある区域。
- 土砂災害警戒区域**
土砂災害により、住民の生命または身体に被害が生じるおそれがある区域。

【高潮ハザードマップについて】

さぬき市では、平成16年の台風第16号がもたらした高潮により床上浸水などの被害が発生しました。
この「さぬき市高潮ハザードマップ」は、災害時に市民の皆さんがすばやく安全に避難していただき被害を最小限に抑えることを目的として作成したものです。
ハザードマップでは想定し得る最大規模の高潮が発生した場合の浸水区域と浸水深を示しています。高潮発生のおそれがある場合は、このハザードマップを参考にして早めの避難をお願いします。

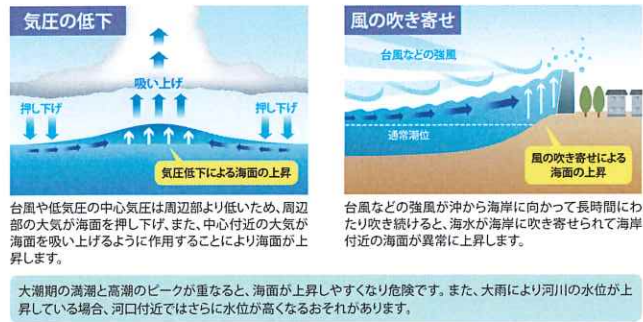
【高潮浸水想定的前提条件】

- ・水防法の規定により想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に、浸水が想定される区域と浸水の深さを示しています。
- ・最悪の事態を想定し、中心気圧は日本に上陸した既往最大台風である「室戸台風(昭和9年9月)」、移動速度は「伊勢湾台風(昭和34年9月)」により、県内各地区に大きな影響を与える複数の経路を設定し、堤防・水門等は設計条件に達した段階で決壊するものとしています。
- ・この複数の高潮浸水シミュレーションの結果から、最大となる浸水区域、浸水深を抽出示しています。
- ・台風等により高潮が発生する状況では、同時に降雨も想定されるため、県管理河川のうち水位高知河川(津田川・鶴部川)については、河川整備の目標とする降雨による洪水が同時に発生した場合を想定しています。
- ・高潮による河川内の水位変化を図化していませんが、高潮の遡上により、海岸から離れた地域でも河川から浸水することが想定されます。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響があること、想定していない雨水出水(内水)が発生すること等、浸水想定区域以外でも浸水が発生したり、浸水深が深くなる場合があります。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではありません。



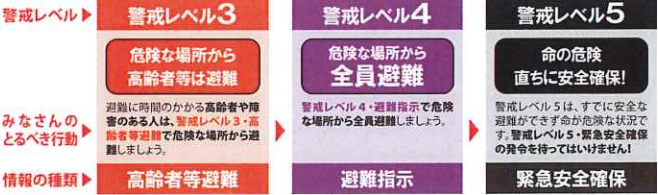
高潮発生のしくみ

高潮とは台風や発達した低気圧によって、海岸付近で海面が異常に高くなる現象です。高潮発生の主な要因としては、以下の2つがあります。

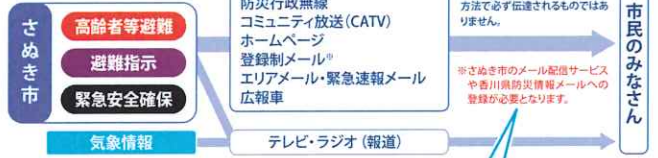


避難行動について

高潮は、地震(津波)と異なり気象情報等をもとに早めの避難が可能です。
高潮発生のおそれがある場合には気象庁より「高潮注意報(高潮警報に切り替える可能性に及)」や「高潮警報」が発表されます。これに合わせて市では「高齢者等避難」や「避難指示」を発令します。
これらの情報を自らに取りに行くよう心掛け、安全な場所にすみやかに避難をしてください。
避難先は、市が指定した指定緊急避難場所に限られません。近くの親戚・知人宅等への避難についても日頃から相談しておいてください。また、十分に安全が確保できる場合には、自宅の2階や建物の上層階などへ避難することも可能です。



情報伝達の流れ



さぬき市のメール配信サービス (安全安心コミュニティサービス)
さぬき市が安全・安心を提供するために、避難情報や警報等を周知するためのメール配信サービスです。

登録方法

- entry@anshin.sanuki.ne.jpへ空メールを送信してください。
- 折り返し、登録用メールが届きます。案内に従って登録ください。

香川県防災情報メール
気象警報・注意報や土砂災害警戒情報、避難情報等がメール配信されるサービスです。

登録方法

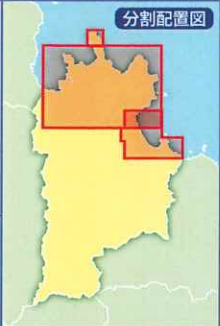
- 右のQRコードを読み込むか、またはメールアドレス: ml@bousai-kagawa.jpへ空メールを送信してください。
- 折り返し、登録用メールが届きます。案内に従って登録ください。

さぬき市防災情報システム

さぬき市では、台風などの大雨時に雨量計や潮位計の情報や、河川・港湾防災カメラの映像等を見ることができる『さぬき市防災情報システム』の運用を開始しています。お住まいの近くの河川や雨量情報を取得し、避難等の判断にお役立て下さい。

インターネットで確認 ⇒ <https://sanuki.tenki.ne.jp/>
テレビで確認 ⇒ さぬき市ケーブルテレビのデータ放送をチェック

分割配置図

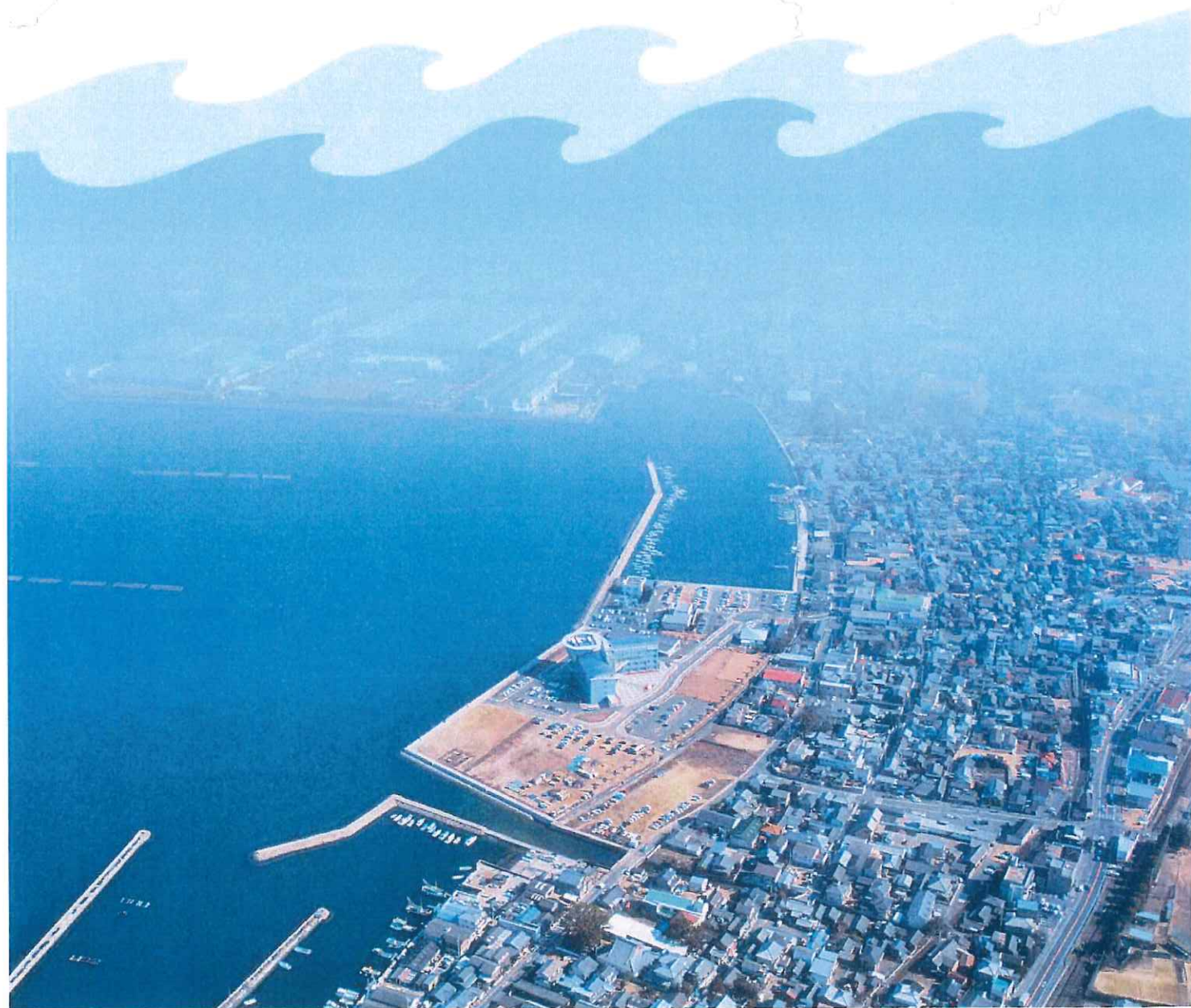




さぬき市 津波ハザードマップ

SANUKI CITY TSUNAMI HAZARD MAP

2014年(平成26年)1月 発行



■津波ハザードマップ

この津波ハザードマップは、香川県地震・津波被害想定調査により公表された南海トラフを震源とする地震により発生が予想されている最大クラス（※）の津波被害想定に基づき作成しています。



最大クラスの地震・津波とは、千年に一度あるいはそれよりもっと低い頻度で発生するが、発生すれば甚大な被害をもたらす地震・津波です。南海トラフで最大クラスの地震が発生した場合、さぬき市の最大震度は震度**6強**、その揺れは最大で約**4分間**続くことが予想されています。

■被害想定

市内の主な港の最高津波水位



浸水面積 浸水の深さが1cm以上となる地域の面積

528ha

志度港における海面変動開始時間等（津波の影響がでるまでの想定時間）

※想定時間はあくまで目安の時間であり、想定時間まで最大波が到達しないということではありません。



■津波被害想定条件

香川県地震・津波被害想定調査の津波被害想定は、次のような条件でシミュレーションしています。

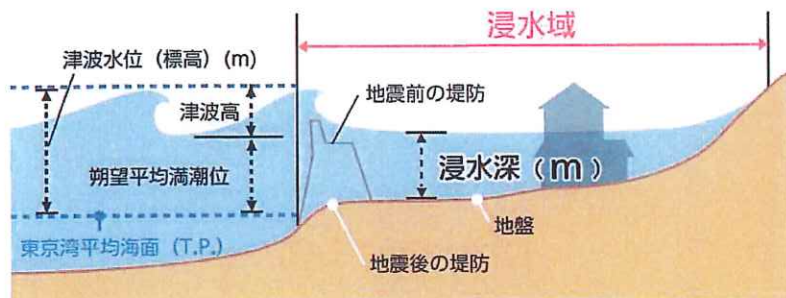
条件1 四国沖の南海トラフを震源域とするMw(※)9.1の地震により最大クラスの津波が発生 ※モーメントマグニチュード

条件2 地震発生時の海面は満潮時（朔望平均満潮位）とする

条件3 地震による海底地盤の沈降（地盤沈降量）を考慮する

条件4 液状化による陸域の沈降量を考慮する

条件5 堤防や防波堤は破壊され機能しない(※) ※コンクリート構造物は100%、盛土構造物（土で築造された堤防等）は75%沈下、津波が堤防などを乗り越えた場合は破壊



【東京湾平均海面（T.P.）】

東京湾の代表地点における平均潮位の海面の高さ。標高の基準となる。【東京湾平均海面＝標高（海拔）0m】

【朔望平均満潮位】

朔（新月）および望（満月）の日から5日以内に現れる、各月の最高満潮面の平均値

【津波高】

朔望平均満潮位と津波により上昇した海面の高さとの差

【津波水位】

東京湾平均海面（T.P.）と津波により上昇した海面の高さとの差

【浸水深】

浸水域の水面から地面までの深さ

注意していただきたい事項

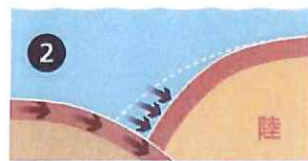
- このハザードマップは、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表しています。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に計算したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- このハザードマップの浸水域や浸水深は津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響、地震による地盤変動、構造物の変状などにより、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなる場合があります。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

津波発生メカニズム

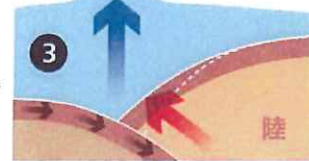
海底で地震が起こると、大量の海水が一度に大きく持ち上がり、津波となって沿岸までやってきます。



① 海洋プレートが陸の方へ沈み込む。



② 陸のプレートの先端部が引きずり込まれ、ひずみが蓄積する。



③ ひずみが限界に達し、陸のプレート先端が跳ね上がり、海水全体を押し上げる。



④ 押し上げられた海水が周辺に広がり津波となって、多方向にいっせいに押し寄せる。

津波の特徴

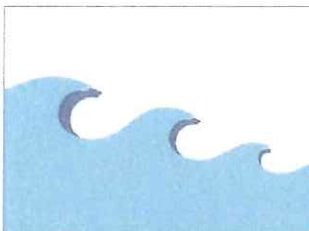
津波はいくつかの特徴を持った災害です。津波の特徴を知り、いざというときのために準備をしましょう。



● 岬の先端やV字型の湾内、入り組んだ海岸は津波のエネルギーが集中し、波が高くなる可能性があります。



● 津波は川を遡り（遡上）、堤防を超えて陸地に津波が溢れます。



● 第一波より第二波、第三波のほうが大きくなる可能性があります。



● 1～2 m の津波で家屋の全壊、流失する可能性があります。



● 津波はガレキ等の漂流物を巻き込んで破壊力を増し、建物やときには防波堤さえも壊すことがあります。



● 20～30cm 程度の津波でも立っていらなくなり、足をとられ波にさらわれます。



● 引いていく波の破壊力もすさまじく、陸で引き波にさらわれて沖に流されてしまうこともあります。



● 津波は繰り返し襲って来ます。地震後6時間（最大12時間）は注意が必要となります。



● 津波は引き潮からはじまるとは限りません。



● 震源が近く、水深が深いほど津波は速く襲ってきます。早いときには揺れてから数分で襲ってきます。

● 基本的に地震の震度と津波の高さは比例します。

過去の津波による被害（東日本大震災からの教訓）

東日本大震災のときに起きた津波災害から学ぶことで、私たちの命を守るヒントがあるかもしれません。同じ失敗を繰り返さないように特徴的な事例を学びましょう。

死亡者の過半数は高齢者



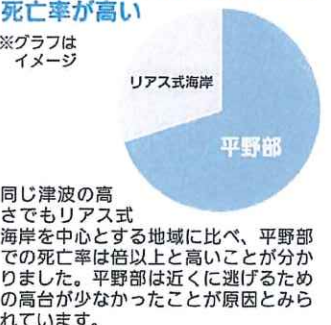
死因の9割は溺死



避難は率先して



平野部はリアス式海岸に比べ、死亡率が高い



このハザードマップを使って日ごろから津波に備えておきましょう。

ハザードマップを活用しよう！



このハザードマップは、南海トラフを震源とする地震により発生する最大クラスの津波から身を守るための情報が掲載されています。このマップを活用し、地震・津波に対する具体的なイメージをもって、その特性を正しく理解するとともに、正しい判断と行動をすることで、津波から命を守りましょう。



●津波災害に関する学習をしましょう。



●持出品を準備し、すぐに持ち出せるような場所に保管しましょう。



●海水浴や川遊びに出かけるときは携帯ラジオを持ち、近くの避難可能な場所を把握しておきましょう。



●防災訓練に参加し、地域における協力体制について話し合いましょう。



●家族で話し合い実際に避難場所まで歩いてみたり、我が家のハザードマップをつくりましょう。

家族が居る場所から近い避難所や連絡先を記入しておきましょう。

家族（親戚・知人など）の名前

電話番号（会社・学校・携帯）

備考

わが家の避難所

家族の集合場所

非常持出品の置き場所

災害用伝言ダイヤル171やWeb171で家族の安否を確認しましょう。

災害用伝言板（災害用伝言ダイヤル171/Web171）は、電話・インターネットを利用して被災地にいる方の安否確認ができる伝言板です。携帯電話、スマートフォン、パソコンなどからも利用することができます。

災害用伝言ダイヤル

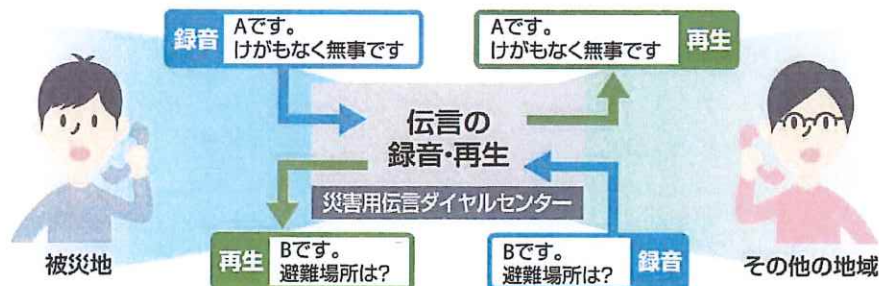
171

災害用伝言ダイヤル171は、固定電話を利用した声の伝言板です。大規模な災害が発生した場合に提供開始します。災害時は全国から被災地への電話がつながりにくくなります。もしものために、ぜひ覚えておいてください。

Web171（文字の伝言板）

<https://www.web171.jp>

※SoftBank, au, docomo等のキャリアごとにアクセス方法が異なります。



いざというときの連絡先

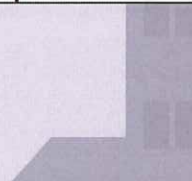
津波から命を守るために

ポイント マップで自宅や家族に関する場所の浸水深を確認しましょう。地震・津波から命を守るために、いざというときの行動や避難の方法を普段から想定し、適切に避難をしましょう。

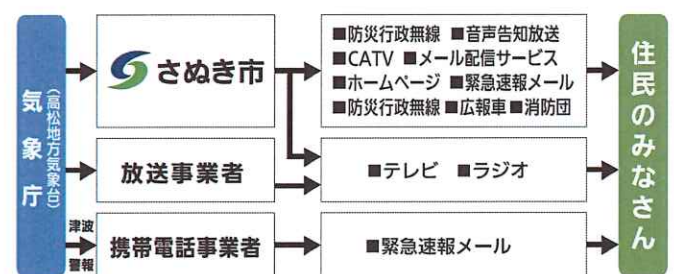


津波警報等の種類

気象庁は、地震が発生したときには地震の規模や位置をすぐに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分(一部の地震については最速2分程度)を目標に、大津波警報(特別警報)、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。

	予想される津波の高さ		想定される被害	高さのイメージ	取るべき行動
	数値での発表(高さ予想)	巨大地震の場合の表現			
大津波警報(特別警報)	10m超(10m~)	巨大	木造家屋は全壊、流失し、多くのガレキや船舶なども陸上に押し流され、さらに多くの家屋が流失します。		マップの浸水域や海岸、川の近くに居る人はただちに近くの市が指定した広域避難場所や津波避難場所または高台などに避難する。
	10m(5m~10m)				
	5m(3m~5m)				
津波警報	3m(1m~3m)	高い	家屋の浸水被害や流出。木造家屋は2mの浸水で全壊、流出します。(内閣府データより)		広域避難場所
津波注意報	1m(20cm~1m)	表記しない	養殖いかだが流失し、小型船舶が転覆します。		津波避難場所

津波警報・注意報や避難情報等の伝達経路



災害時には速やかに様々な手段で住民のみなさんに情報が伝えられます。

インターネット等による情報入手

さぬき市の災害、避難、雨量や河川水位等の情報は、ホームページやメール配信サービスからでも情報を確認することができます。

さぬき市ホームページ	http://www.city.sanuki.kagawa.jp/
さぬき市メール配信サービス(安全安心コミュニティ)	http://anshin.sanuki.ne.jp/
香川県防災情報ホームページ	http://www.pref.kagawa.lg.jp/bosai/
気象庁ホームページ	http://www.jma.go.jp/index.html

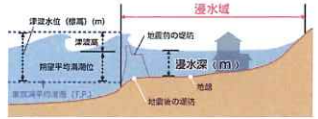
海拔表示板



さぬき市津波ハザードマップ

Sanuki City TSUNAMI Hazard Map

このマップは、最大クラスの津波が懸念条件下(地震による堤防破壊、最も潮位が高い)において発生した場合に想定される浸水区域と浸水深を表したものです。

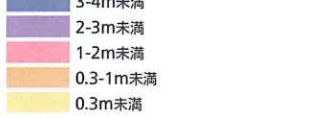


- 凡例**
- 避難所
 - 広域避難場所
 - 警察
 - 防災行政無線
 - 市役所・支所

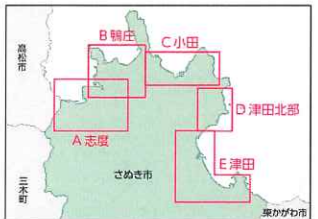
※印の避難所は、浸水区域内またはその周辺に位置するため、状況に応じた開設となります。

津波の浸水想定区域(浸水深)

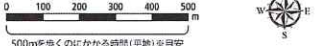
津波の浸水被害が想定される区域



標高



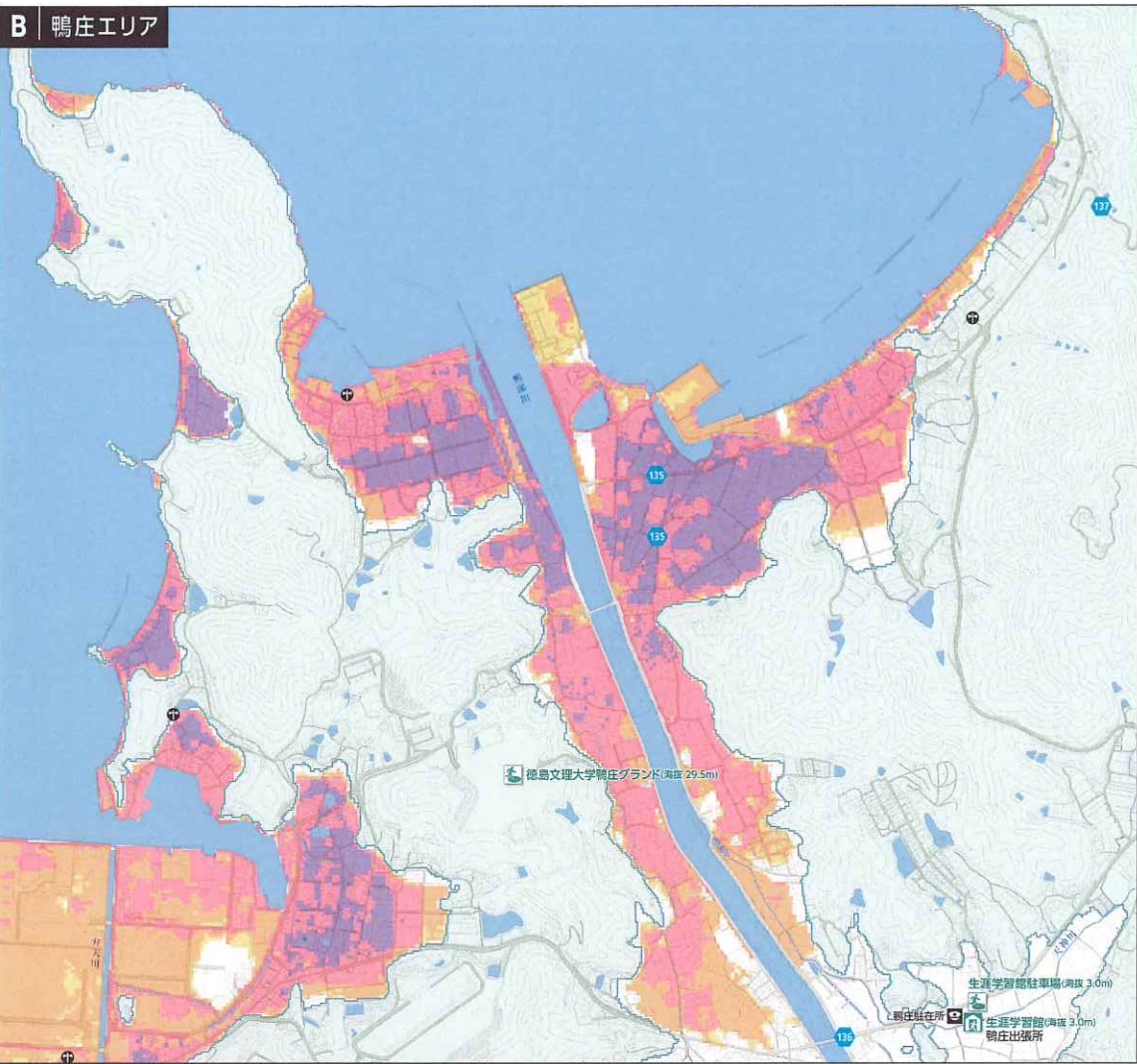
1/10,000



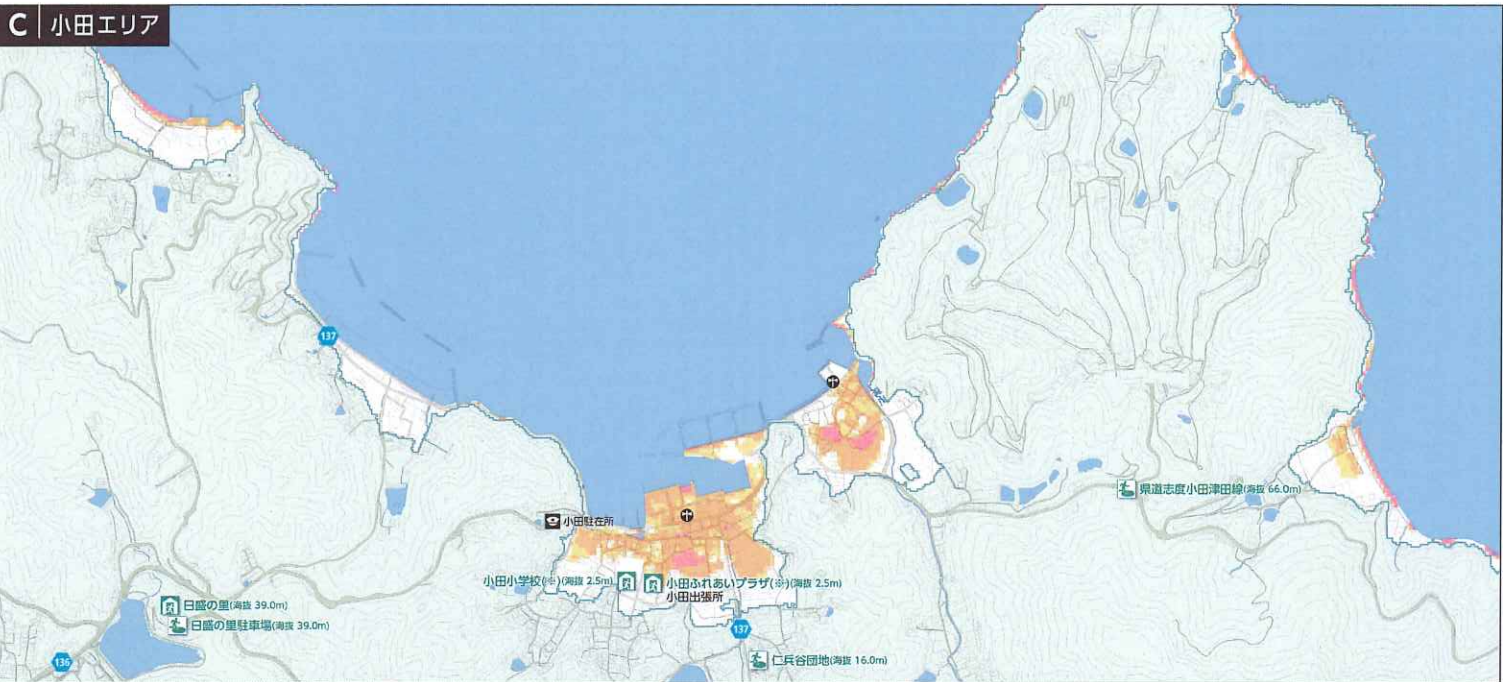
500mを歩くのにかかる時間(平地)※目安

歩行 約6分 自転車 約8分 車 約10分

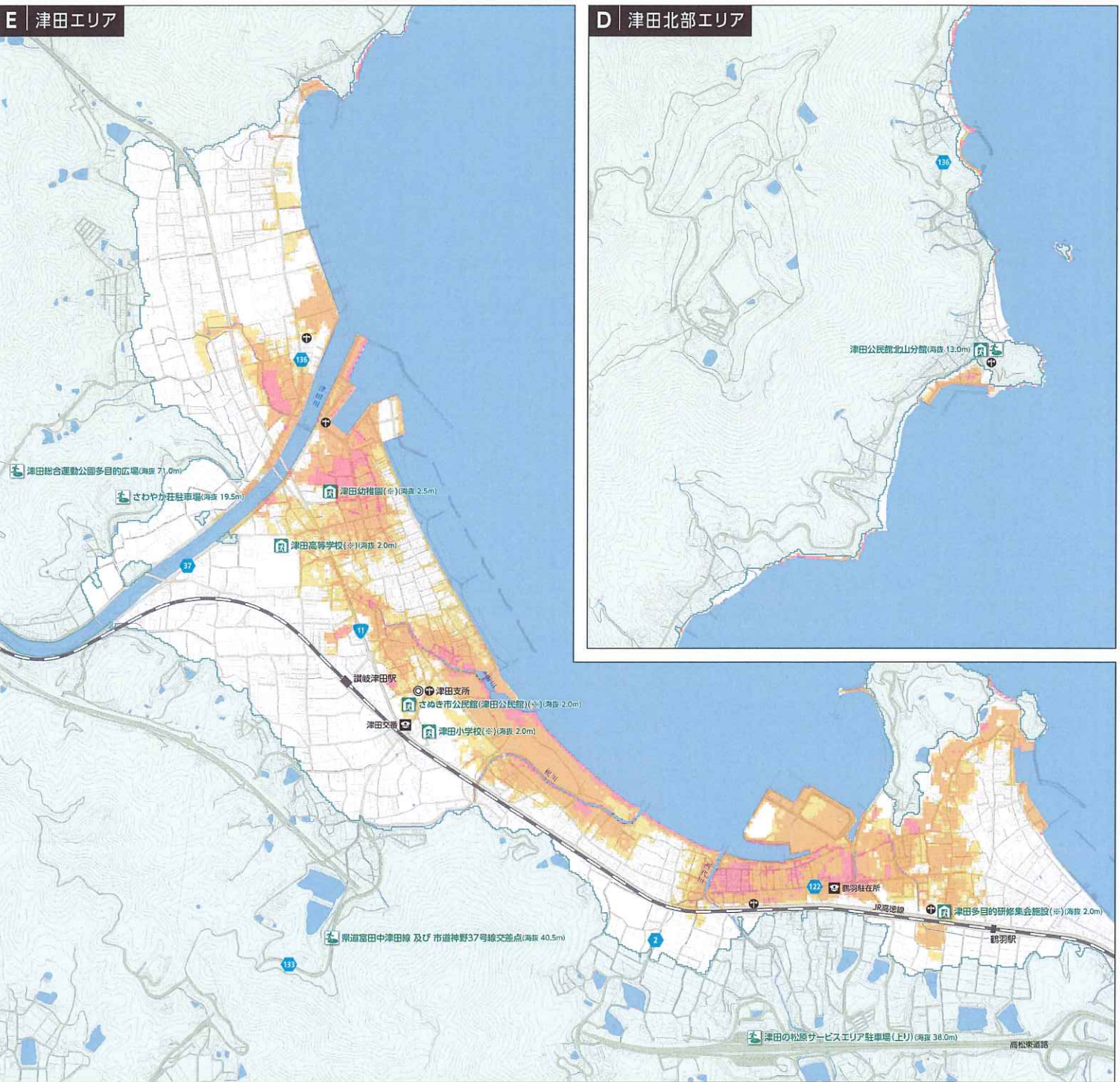
B | 鴨庄エリア



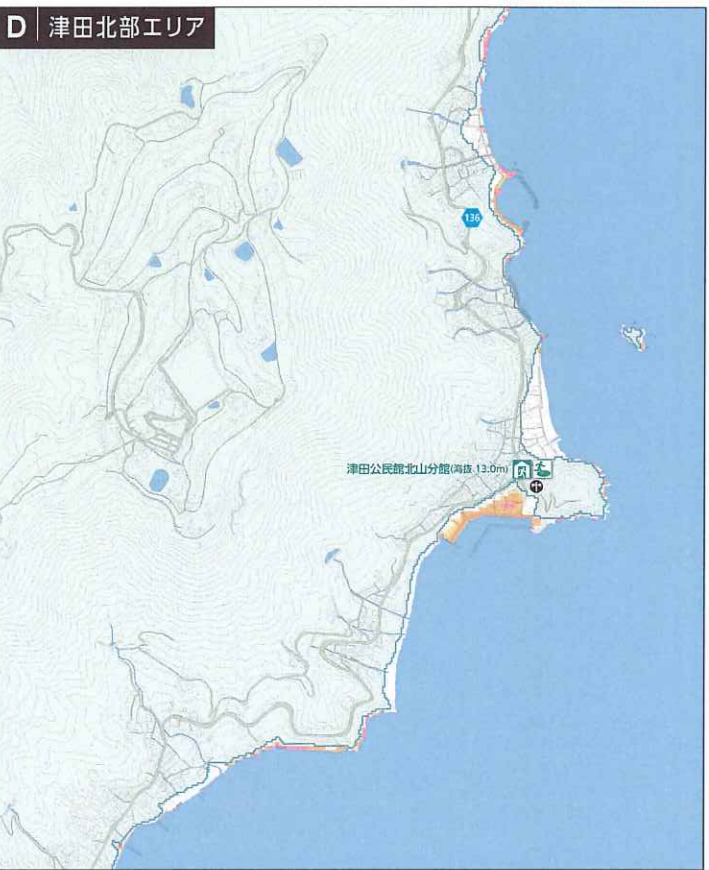
C | 小田エリア



E | 津田エリア



D | 津田北部エリア



A | 志度エリア

